多彩人　絵画と共に生きる多彩人

学校法人兵庫医科大学
新家 荘平 理事長

多彩人の読者の中にも、病院内でのコンサートやイベントで、熱心にスケッチを取る理事長の姿を見かけたことがあるという方がいるのではないだろうか。院内や大学祭の展示などでも、ひときわ目を引く理事長の絵は、毎回私たちの目を楽しませていることもあり、新家理事長の絵画の腕前は教職員にとって周知の事実だろうが、開学４０周年の節目に絵画への想いを伺った。

日本画の名手であった両親の影響をうけ、物心ついた時から絵画は身近なものだった。小学生の時に油絵の画材一式を買ってもらって以来その魅力に取り付かれ、およそ７０年間にわたってキャンバスに向かい続けている。

小学生時代には大阪市長から６年連続表彰を受けるなど、幼いころからその腕前は抜群で、学生時代はもっぱら描くことに没頭したという。将来は医師になるか画家になるか迷ったが、もし画家になっていたら今頃は無精髭を生やしたビンボー画家になっていただろうと笑って話してくれた。

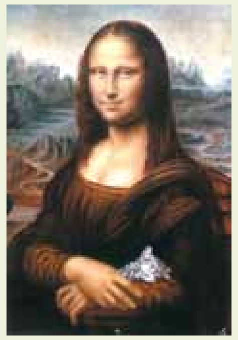
医学生時代も週末ごとに石膏デッサンの修練に励み、街並みや人物のスケッチなど絵画は生活の一部になっていた。飲みに行った帰りの電車内で見ず知らずの人をこっそりスケッチしていると、その相手に絵を売ってくれと頼まれたこともあるという。独学ながら日々腕を磨いた当時の思い出は今も色あせることはない。今も昔も気が付いた時には、ペンを走らせスケッチをとる。いつでもどこでもスケッチをしているという言葉通りである。

そんな理事長が最も心を傾けているのが、能楽という幽玄の世界をキャンバスに写し取ることだ。きっかけはある日に見た能舞台。その妖艶な舞姿に目が眩み、瞬時に虜になったのだ。それ以来、精力的に能舞台に出かけ、舞台の前で憑りつかれたかのようにスケッチをとる。枠で優美な立居振舞いの瞬間を自らの手で表現したいと、ひたすらに絵筆を走らせている。足袋のシワひとつで、その場面の所作を想像させる。画竜点睛はその足元、細心の注意を払って筆を運ぶという。

絵は人を表すというが、その気持ちを純化させる。忙しい中でも絵筆を握り続け、描きたいという気持ちは汲めども汲めども湧いてくる。一度完成させた絵でも、眺めているうちにまた描き足したり変化を持たせてみたり、いつまでも完成形はない。個展や学内の展示で一度見た絵も、次に見たときには違う絵になっていることもあるかもしれない。

写実的な絵だけでなく、これからは自分の色がにじみ出る新しい画風にチャレンジし、さらに「脱皮」したいと意欲を語ってくれた。何年たっても新たな挑戦が続いている。

昭和３０年	大阪大学医学部卒業
昭和５１年	兵庫医科大学教授（免疫学・医動物学）
昭和５９年	兵庫医科大学 教務委員長（現 教務部長）
昭和６３年	兵庫医科大学 学生部長
平成　６年	兵庫医科大学 学長
平成１３年	学校法人兵庫医科大学 副理事長
平成１５年	学校法人兵庫医科大学 理事長（現職）



「あなかしこ」油彩Ｍ２０号

絵葉書に添えられた新家理事長のひとこと

「ほぼ１年にわたって世界一の名画の原寸大の模写に取り組んできましたが、一寸した油断から、我が家の子猫の邪魔が入り折角の労作が台無しになりました。」

さまざまな分野で才能を開花させている、極めている、アクティブに活動している“多彩人”の情報をお待ちしています。
自薦・他薦は問いません。総務企画部広報課までご連絡ください。＜電話：０７９８－４５－６６５５　メール：kouhou@hyo-med.ac.jp＞

最近の新聞記事より

ハイチ大地震から２年４カ月

現地医師招き医療技術指導

神戸のNGO

2010年1月、大地震に見舞われたカリブ海の島国ハイチ。衛生環境の悪化による深刻な感染症を食い止めようと、神戸市の非政府組織（NGO）「フューチャーコード」が6月から現地医師2人を招く。兵庫医科大病院（西宮市）や神戸市保健所も協力し、日本の医療技術を伝える。（岩崎昂志）

ハイチ大地震は30万人以上の死者を出し、150万人以上が家を失ったとされる。ハイチは最貧国の一つで、復興は思うように進まず、今もテント生活を続けたり難民化したりする被災者もいるという。

若手医師らでつくるフューチャーコードのメンバーで兵庫医科大病院呼吸器外科医師の大類隼人さん(31)＝神戸市中央区＝は、東日本大震災の医療支援に加わってからハイチにも関心を寄せるようになった。

昨年5月に訪れた現地の病院は、被災から1年以上が過ぎても崩壊したまま。結核やコレラなどの患者が集団で収容されたテントにはハエが飛び、薬や検査機械などの不足で十分な治療ができず、命が失われていた。7千人以上がコレラで死亡したという。

現地で長く医療支援に取り組み「ハイチのマザー・テレサ」と呼ばれる日本人医師須藤昭子さん(85)から「病院はいつか再建できるが、専門医が足りない」と聞かされ、医師教育を提案した。

6月から約1カ月半、須藤さんが推薦したクィー・ジャッセン医師(38)

感染症対策が急務

とジェルタ・パスカル医師(32)、通訳の3人を受け入れる。呼吸器や放射線の専門医らが、高価な機器がなくてもできる診断・治療法を教える。神戸市保健所では結核対策の検診事業を体験してもらう。

大類さんは「彼らの帰国後も、日本で学んだ医療技術が現地に根付くまで支援したい。この取り組みが、ハイチの現状を日本に伝える“懸け橋”にもなれば」と話す。

医師らの渡航・生活費は寄付で賄う予定。6月4日午前11時まで、インターネット上のサイト「Readyfor（レディーフォー）」で、200万円を目標に募っている。フューチャーコードへの連絡はメールinfo@future-code.org

来日するジャッセン医師（左端）とパスカル医師（右端）、大類さん（右から2人目）＝フューチャーコード提供

平成24年5月21日　神戸新聞掲載

ハイチの感染症防げ

大地震でまん延 コレラ、結核

兵庫医大で神戸のNGO　現地医師に研修

2010年の大地震で壊滅的な被害を受け、感染症のまん延が深刻化しているカリブ海の島国ハイチに医療技術を伝えようと、神戸市を拠点に活動する非政府組織（NGO）「フューチャーコード」が現地医師2人と通訳を日本に招き、11日、西宮市武庫川町の兵庫医科大病院で研修を始めた。（岩崎昂志）

ハイチ大地震の死者は30万人以上。復興の遅れから今もテント暮らしの被災者が多い。衛生環境が悪化する一方、医療施設やスタッフは不足し、結核やコレラなどの対策に苦しんでいる。

フューチャーコード代表で同病院呼吸器外科の大類隼人医師(31)は昨年、ハイチを訪れた際、現地医療に長年貢献してきた日本人医師須藤昭子さん(85)から助言を受け、結核などの治療に当たる人材の育成を計画。日本に招く医師らの渡航・滞在費に充てるためインターネットなどで寄付を募ったところ、兵庫県内を中心に全国約200人から計207万円が集まった。

研修を受けるクィー・ジャッセン医師(38)とジェルタ・パスカル医師(32)は今月5日に来日し、研修初日の11日は同病院呼吸器外科の設備を見学。ジャッセン医師は「私たちの病院は地震で倒壊し、今はプレハブの施設で診療に当たるが、患者は急増している」と苦境を訴え、パスカル医師は「日本に来られる医師は限られるが、学んだ技術をハイチで広めたい」と決意を語った。

2人の滞在は約1カ月半で、同病院の専門医から診断・治療法を教わるほか、神戸市保健所が取り組む結核対策の検診事業も体験する。

大類医師は「寄付として集まった思いを生かし、ハイチの将来に根付く支援にしたい」と力を込めた。

大類隼人医師（右端）の案内で病院内を見学するジャッセン医師（左から2人目）とパスカル医師（同3人目）＝11日午前、兵庫医科大病院（撮影・辰巳直之）

平成24年6月11日　神戸新聞掲載

住吉再開発 検索

Sumiyoshigawa Riverside Forum
The RESIDENCE

［旧東灘区役所跡地］
［再開発プロジェクト］

住吉川リバーサイドフォーラム ザ・レジデンス

※掲載の完成予想図は設計図書をもとに描いたもので、形状・仕上・植栽・色彩等は実際と異なります。また六甲ライナー・周辺の建物など一部省略(白線で表記)して描いております。 ※レジデンス棟は野村不動産、近鉄不動産、長谷工コーポレーションの開発となります。※新東灘図書館(予定)は神戸市立図書館です。

モデルルーム公開中 第1期[6月下旬] 分譲開始(予定)

JR神戸線/快速停車 「住吉」駅、徒歩6分

JR神戸線「住吉」駅より
「大阪」駅へ、直通19分「三ノ宮」駅へ、直通7分

※「大阪」駅、「三ノ宮」駅へは、いずれも快速利用。ラッシュ時は、「大阪」駅へ20～21分、「三ノ宮」駅へ6～9分(いずれも快速利用)。乗換・待ち時間は含みません。

マンションギャラリー住所　東灘区田中町2丁目9番9号

■「住吉川リバーサイドフォーラム・ザ・レジデンス」全体概要○所在地／兵庫県神戸市東灘区住吉東町二丁目1876-216(地番)○交通／JR神戸線「住吉」駅徒歩6分○総戸数／211戸(他管理事務室1戸)○用途地域／近隣商業地域、第一種住居地域、防火、準防火地域、第5種高度地区○構造・規模／鉄筋コンクリート造地上28階、地下1階建○敷地面積／4,960.68㎡(文化施設棟部分含む建築確認対象面積)○土地権利・借地権種類／普通賃借権○借地権の種類と期間／普通借地権の存続期間は平成52年(西暦2040年)3月まで。但し、借地契約期間満了時までに土地所有者の承認を得ることで、更新することができます。○借地権の賃料月間／未定○間取り／2LDK～4LDK○住居専有面積／59.04㎡～123.19㎡○バルコニー面積／14.31㎡～51.42㎡○駐車場(賃貸)／148台(来客用含む)［使用料：未定］○駐輪場(賃貸)／422台［使用料：未定］○バイク置場(賃貸)／バイク4台・ミニバイク18台［使用料：未定］○分譲後の権利形態／各戸専有面積割合による所有権の共有○管理形態／管理会社に委託予定○建物竣工予定時期／平成25年9月下旬○入居予定時期／平成25年10月下旬※建物竣工時期・入居時期につきましては、東日本大震災による今後の資材調達等の状況により、延期となる場合がございます。予めご了承ください。○建築確認番号／BCJ10大建確063(平成23年3月23日)○売主(事業主)・販売代理／野村不動産(株)大阪支店［国土交通大臣免許(12)第1370号・(一社)不動産協会会員・(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟］〒550-0011大阪市西区阿波座1丁目4番4号(野村不動産四ツ橋ビル15階)○売主(事業主)／近鉄不動産(株)［国土交通大臣免許(8)第3123号・(一社)不動産協会会員・(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟］〒543-0001大阪市天王寺区上本町6丁目5番13号○売主(事業主)／(株)長谷工コーポレーション［国土交通大臣免許(14)第68号・(一社)不動産協会会員・(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟］〒105-8507 東京都港区芝二丁目32番1号○販売代理／野村不動産(株)○販売代理／(株)長谷工アーベスト［国土交通大臣免許(8)第3175号・(一社)不動産協会会員・(公社)近畿地区不動産公正取引協議会加盟］〒541-0046大阪市中央区平野町1丁目5番7号○管理会社／野村リビングサポート(株)○設計・施工／(株)長谷工コーポレーション■第1期予定分譲概要◎販売戸数／未定◎販売価格(税込)／未定◎最多販売価格帯(税込)／未定◎専有面積／未定◎バルコニー面積／未定◎間取り／未定○販売予定時期／平成24年6月下旬※販売につきましての詳細は、現在決まっておりません。販売戸数、価格などにつきましては今後行う予定の本広告にて明示します。

予告広告 この広告は販売予定の表示です。販売を開始するまでの間は、契約または予約のお申込はできません。ご了承ください。
●販売予定時期／平成24年6月下旬

お問い合わせ
「住吉川リバーサイドフォーラム ザ・レジデンス」マンションギャラリー
0120-211-876
営業時間／10時～18時(水曜定休)

事業主<販売代理> 野村不動産　事業主<売主> 近鉄不動産　事業主<売主> 長谷工コーポレーション　販売代理 長谷工アーベスト

7月

7月初旬	兵庫医療大学	仕事研究セミナー（理学療法学科）
7月4日	兵庫医科大学病院	市民健康講座「睡眠障害とその対策」
7月 9日～11日・13日	兵庫医科大学	第１学年次　早期臨床体験実習Ｉ
7月17日	兵庫医療大学	第21回 神戸市長と松田学長との懇談会
7月18日	兵庫医科大学病院	市民健康講座「口とのどの癌の放射線治療」
7月19日	兵庫医科大学	第４学年次　トリアージ訓練、除染訓練
7月20日・21日	兵庫医科大学	ミニワークショップ(職員対象)
7月21日	兵庫医療大学	薬学部・兵庫医科大学病院薬剤部合同イベント

8月

8月3日	兵庫医科大学	オープンキャンパス
8月初旬	兵庫医療大学	リハビリテーション学部対象社会人スキル対策講座
8月6日～11日	兵庫医療大学	早期臨床体験実習（ECE）
8月中旬	兵庫医療大学	保健師ガイダンス
8月15日	兵庫医科大学病院	市民健康講座「単なる“物忘れ”と“認知症”は違います！」「安全に楽しく食事をするために～介助のポイント～」
8月18日・19日	兵庫医療大学	オープンキャンパス
8月25日	ささやま医療センター	ささやま老人保健施設　納涼祭
8月30日	兵庫医科大学	オープンキャンパス
8月下旬	兵庫医科大学病院	小児入院患者対象イベント

※日程など、今後変更になる可能性がありますのでご了承ください。

学校法人 兵庫医科大学 事業法人
株式会社 エイチ・アイ
有限会社 エイチ・アイ・サービス

「事業会社の自由な発想」と
「何でもチャレンジの機動力」
をモットーに、大学への貢献、皆様へ「お役立ち」を目指します。

各種斡旋：レンタカー割引、家電製品、引越業者紹介、貸衣装他
保険設計：団体扱生命・損害保険、「学生総合補償制度」
取扱い等々・・・ お気軽にお問合せ下さい。

西宮市武庫川町1番1号 兵庫医科大学6号館2F
Tel ： 0798-45-6656 / 6673
HP ： http://hi-hyogo.com/hi.html

ご意見をお聞かせください！

本誌ではみなさまのご意見・ご感想をもとに、親しみのもてる誌面づくりを目指しています。

誌面のご感想や、ご要望、企画の提案、取材対象者のご紹介など、ぜひみなさんの声をお聞かせください。

【お問合せ先】
学校法人 兵庫医科大学　総務企画部 広報課
〒663-8501
兵庫県西宮市武庫川町1-1
TEL 0798-45-6655
FAX 0798-45-6219
Email　kouhou@hyo-med.ac.jp

MIYAKO HOTELS
都ホテル ニューアルカイック
MIYAKO HOTEL NEW ARCHAIC

● ブライダル　● レストラン
● 宿泊　● 歓送迎会　● 同窓会

阪神尼崎駅より立体遊歩道で徒歩約6分

〒660-0881 兵庫県尼崎市昭和通2丁目7番1号 TEL.06-6488-7777(代表) www.miyakohotels.ne.jp/archaic/

大学探訪

兵庫医科大学　平成記念会館

阪神電車の高架を渡って北側にある平成記念会館は、開学３０周年記念事業として平成１７年３月に完成しました。１階は講堂、２階は体育館になっており、その他に武道場と各クラブの部室があるクラブ棟を併設しています。

開設からこれまでの７年間、入学式や卒業式などの節目はこの平成記念会館で迎えました。開学４０周年を迎えたこれからも、思い出をつくり、長くみなさんに親しんでいただける施設です。

学校法人兵庫医科大学

建学の精神

社会の福祉への奉仕
人間への深い愛
人間への幅の広い科学的理解

兵庫医科大学
兵庫医科大学病院
〒663-8501　兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL:0798-45-6111（代）
http://www.hyo-med.ac.jp/（大学）
http://www.hosp.hyo-med.ac.jp/（病院）
http://www.corp.hyo-med.ac.jp/（法人）

兵庫医療大学
〒650-8530　兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6
TEL:078-304-3000（代）
http://www.huhs.ac.jp/

兵庫医科大学
ささやま医療センター
〒669-2321　兵庫県篠山市黒岡5番地
TEL:079-552-1181（代）
http://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/

学校法人兵庫医科大学広報
発行月・VOL／2012年6月号・VOL.216
発行日／2012年6月27日
発行／学校法人兵庫医科大学　総務企画部 広報課
印刷・製本／株式会社ゼネラルアサヒ